

令和3年度～新規事業

健康データやデジタル技術を活用し、若い時期からの生活習慣改善を目指す
「健康経営の推進に向けた実証試験」を開始します。

～**全国初** 県内企業と連携し、従業員の健康づくりにつながる実効性ある取組を検証～

1 趣旨

広島県では、健康分野でのDXの一環として、健康寿命の延伸に向けて若い時期からの適切な生活習慣の定着を進めるため、AI技術を用いて将来の生活習慣病の発症リスクを「見える化」し、県内企業の従業員の健康づくりにつながる実効性ある取組を検証する「健康経営の推進に向けた実証試験」を本年度から開始します。

「健康経営」に取り組む企業と連携し、健康診断データをAIにより分析し、将来の健康リスクを予測して、働き盛り世代の従業員の健康づくりを後押しする実証試験は、都道府県レベルでは全国初の取組です。

2 「健康経営の推進に向けた実証試験」の概要

(1) 目的

「健康経営」に取り組む県内企業と連携し、健康診断のデータからAIにより将来の疾病リスクを予測するとともに、スマートフォンのアプリ等を活用して生活習慣改善提案を行い、働き盛り世代の従業員の健康づくりにつながる実効性ある取組を検証します。

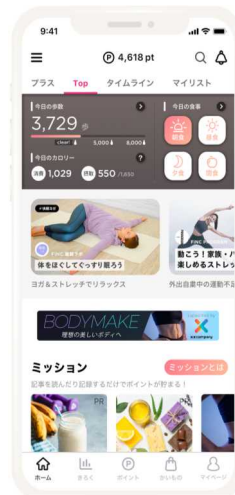
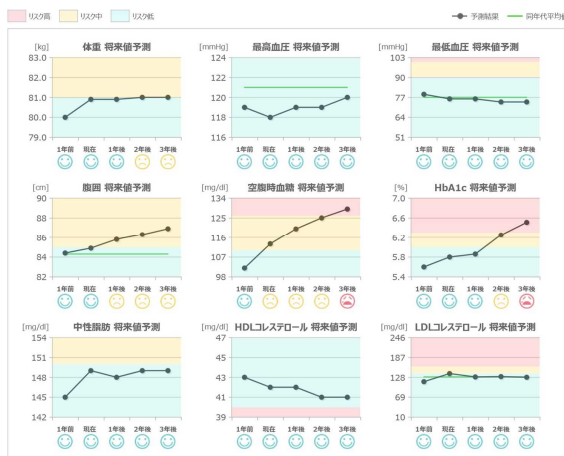
(2) 実証試験で使用するAI及びスマートフォンのアプリの概要

AIによる将来の健康リスクの予測

- ・定期健康診断データをAIで分析し、導き出した健診結果予測モデルから、将来の健康リスクを可視化。
- ・将来の健康リスクに早期に気付くきっかけを作り、行動変容を促します。

スマートフォンの健康管理アプリ

- ・ヘルスケアに特化したプラットフォームアプリ。
- ・ゲーミフィケーション(ゲーム的な要素を取り入れることで利用を促すような仕組み)を活用した機能・コンテンツにより、行動継続を促します。



※画像はイメージであり、実際には異なることがあります。

※実証試験パートナー企業：日本電気(株)中国支社, NECソリューションイノベータ(株), (株)FINC Technologies <AI及びスマートフォンのアプリの提供>

(3) 参加対象者

広島県内に事業所のある企業及びその従業員。

現在、実証試験へ参加協力いただける企業を県ホームページで募集中です。

参加は「無料」。業種や規模を問わず参加可能ですので、健康経営の取組の一環として是非御活用ください。

【申込締切】令和3年8月31日（火）

【応募ページ】<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kenkoukeiei/jissyoushiken.html>

スマートフォンからはこちら▶▶▶



(4) 実証試験の流れ

実証試験の大まかな流れは、次の図のとおりです。

この実証試験では、参加者を複数のグループに分け、後押しの内容に差を設けることにより、どの方法が、どの程度効果があったのかを検証します。



3 今後の予定

令和3年秋の実証試験開始を目指し、参加協力企業の募集、具体的なサポート内容の調整などの準備を進めます。

【参考】健康経営について

「健康経営」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。企業理念に基づき、従業員等への健康投資を行うことは、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらし、結果的に業績向上や株価向上につながると期待されます。

「健康経営」は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。